

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



旭山動物園物語(映画、DVD)
角川エンタテインメント

旭川市旭山動物園の園長は、財政赤字を抱える動物園を立ち直らせるべく、日々奔走していた。そんな中、人間よりも昆虫が好きな青年・吉田が新人飼育係としてやってくる。情熱あふれる園長、ベテラン飼育係とともに動物園を盛り上げようと努力を続けるが、園内で感染症が発見され、とうとう廃園の危機が迫ってしまう。(112分)



ツエねずみ(絵本)
文/宮沢賢治 絵/石井聖岳 刊/三起商行

「まどっておくれ まどっておくれ(償っておくれ、弁償しておくれ)」。いつだって、そいつが言うのはそればかり。悪いことやいやなことは、全部だれかのせいにして、どんなに親切にされたって、ありがたいなんて思わない。それがそいつさ、「ツエねずみ」。とうとう誰にも相手にされなくなったツエねずみに、ねずみ捕りが話しかけ…。



悪霊の島 上・下(一般書)
著/ステイヴン・キング 刊/文藝春秋

不慮の事故で片腕を失い、失意の中フロリダの孤島でひとり静かに暮らすエドガーは、ある日絵を描く衝動にとりつかれる。自分の意思に関わりなく手が描き出す少女と船の絵。その絵は美術シーンに衝撃を与え、エドガーに新たな人生をもたらした。しかし、そっと時を待っていた死と破壊が密かに触手を伸ばし始める。

だいせつざんのすがお 大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人々をリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

旭岳山ろくの森の巨人たち～アカエゾマツ

北海道の森には〇〇マツと名前がつく木が4種類自生しています。最も標高の高い場所に地面をほうように生えている「ハイマツ」、少し標高が下がった場所に広葉樹と混ざって生えている「エゾマツ」、標高の低い森の中に生える一番多く植林されている「トドマツ」、火山灰地や湿原など生育環境の厳しい場所に生える「アカエゾマツ」です。まち中に多く生えているカラマツは、残念ながらすべて植林したもので自生しているものはありません。

これらマツ類は、それぞれ近い種類ですが植物学上の階級が異なります。

ハイマツはマツ科マツ属(パイン)、エゾマツ・アカエゾマツはマツ科トウヒ属(スプルース)、トドマツはマツ科モミ属(ファー)となっています。木工をなさる方には、かっこ内の呼び方になじみがあり、それぞれに色や木目、樹脂の量が違うことが分かるのではないのでしょうか?

4種のマツの中で大雪山に特徴的なのはアカエゾマツです。北海道全域に自生していますが、自生密度が高いのは

大雪山、阿寒湖・屈斜路湖周辺、根室半島周辺など、限られた地域だけです。

生育環境の厳しい大雪山の森には樹齢300年以上高さ40メートル、直径2メートルにもなる巨木がたくさん存在します。

巨木には多様な生き物が関係しています。うろこ状にはがれる樹皮の間にはカミキリムシ、キクイムシなどの昆虫が多く生息し、越冬もしています。昆虫たちは力のない小鳥やキツツキにとっての貴重な食料になっています。

秋になる果実(松ぼっくり)はエゾリス、ホシガラスの餌にもなっています。

木目が均等に育ち、加工しやすく狂いの少ない材の特徴を生かして、ピアノの鍵盤、響板(弦を張った下になる重要な部分)、バイオリンの甲板(音を響かせる胴体)としても加工利用され、人間にとっても貴重な樹種です。多くの生き物にとってたくさんの役割を持っているアカエゾマツの森は、貴重な存在だといえることができます。

旭岳温泉街の森はアカエゾマツの巨木に簡単に出会うことができる場所です。

威厳と風格が備わった巨木たちは他の地域では見ることのできない東川町の誇りだと感じています。みんなもぜひ一度会いに行ってみませんか?

自然案内人・環境教育フリーランス 鳥羽晃一



大雪山中にりんごそびえ立つ真冬のアカエゾマツ